

2023. 6 月のブルーベリー農園その 4

標高の高い東広島市豊栄町のブルーベリー農園は、社会福祉法人安芸の郷のある安芸区矢野のブルーベリーの収穫より少し遅れて、この時期から早生のブルーベリーが実り始める。安芸区の自宅から農

園に通って栽培しているが、まだ安芸の郷には早生のブルーベリーの実は量が少ないので納品出来ていない。でも安芸の郷の早生のブルーベリーは、今年は昨年よりたくさん収穫出来ているので品薄状態にはなっていない。梅雨なので草が伸びるのが早い。里山では背の低い笹竹がどんどん増える。草を刈り、ブルーベリーの枝を剪定しながら夏の収穫本番に備える日々。夏の摘み取り援農のみなさんからそろそろ日程調整の連絡も入る。



6月24日(土)

道路そばの小さい区画のブルーベリー畑は早生を植えているので防鳥ネットを張った。



区画のなかのブルーベリー。木はまだ小さいが大きな実をつけている(早生のダローという品種・接ぎ木)



6月25日(日)

田んぼの法面を草刈る人。田んぼは一面早苗が大きくなりすっかり緑色になった。



里山の早生のブルーベリーの摘み取りに行く。防鳥ネットの中に5~6羽のヒヨドリが入っていたのでネット開けて鳥を追い払った。このあとネットの小さい穴をつくらったが、完全ではないのでどこかからまた入りそうだ。防衛はむづかしい。



ネットの中。びっしりと実をつけているのは早生のブルークロップという品種。小粒だがおいしい。





里山で毎年咲くホタルブクロ。



農園の庭から。

そろそろ見納めの花はハナショウブ



これからの花。オニユリの蕾



いまが咲く時期のタイザンボクの花 (農園の蔵の後ろ

に咲く 6月27日)



6月27日 (火)

友人の援農でブルーベリーの剪定枝を野焼きする。そして里山のブルーベリーの剪定と枝の片づけを続けた。早生のブルーベリーも少し摘んだ。

2023年6月30日
社会福祉法人安芸の郷
理事長 遊川和良

《2023年6月30日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》

